ブルーサークルメニュー提供に関する実態調査結果について

調　　査　　の　　概　　要

○目　的

「第 56 回日本糖尿病学会年次学術集会」（平成 25 年 5 月）開催を契機に、県における糖尿病の啓発活動の１つとして、健康的な外食メニューであるＢＣＭの提供が平成 24 年 11 月より開始された。今後ＢＣＭを拡大させていくには、日常的に食べられる手頃な価格のＢＣＭを提供し、ターゲットとする客層に店に足を運んでもらう必要がある。

そこで、ＢＣＭの提供状況と提供の意向等を把握し、課題を明確にすることで、今後の提供拡大の方策を探った。

○対　象

ＢＣＭを提供している県下飲食店等 61 店舗の経営者

○方　法

健康づくり推進課から調査対象店舗へ調査票を郵送し、同封した返信用封筒により回収。調査票は記名式とした。

○期　間

平成 25 年 8 月 19 日～　8 月 30 日

○結　果

調査票配付数：61店舗

返信数：33店舗（回収率：54.1%）

調　査　結　果　の　概　要

○主な結果

・以前に指定した健康づくり応援店のうち約７割は、日頃から健康的な食事を提供したいと思っていた。（図１）
・約５割の店舗でお客の反応はよい、約３割の店舗で採算はとれなくても県民の健康づくりに貢献したい、約２割の店舗でリピーターが増えた、売上に貢献したであった。（図２）
・ＢＣＭ提供で意識が変わった約８割の店舗のうち、約９割の店舗で健康的な食に関する関心が深まっていた。（図３）
・反応を聞いた約８割の店舗のうち、約８割が概ね良好、約３割が予約無しで食べられないかであった。（図８－１、８－２）
・約７割の店舗が、今後も継続して販売するとしている。（図９）
・新たにＢＣＭを開発するため、自己で開発できるサービスを知りたいと思っている約７割の店舗のうち、約５割が栄養計算サービス、約４割がメニューへのアドバイスである。（図１０－１、１０－２）
・「かるしおレシピ」に関心がある店舗は約５割で、うち約４割は大会に参加したいと思っている。（図１２）

○課題

・日頃から健康的な食事を提供している健康づくり応援店に、ＢＣＭを導入してもらうための働きかけ
・予約無しで食べられるメニューの開発及び支援
・新たなメニュー開発のための栄養計算サービス等の提供

○調査結果の活用

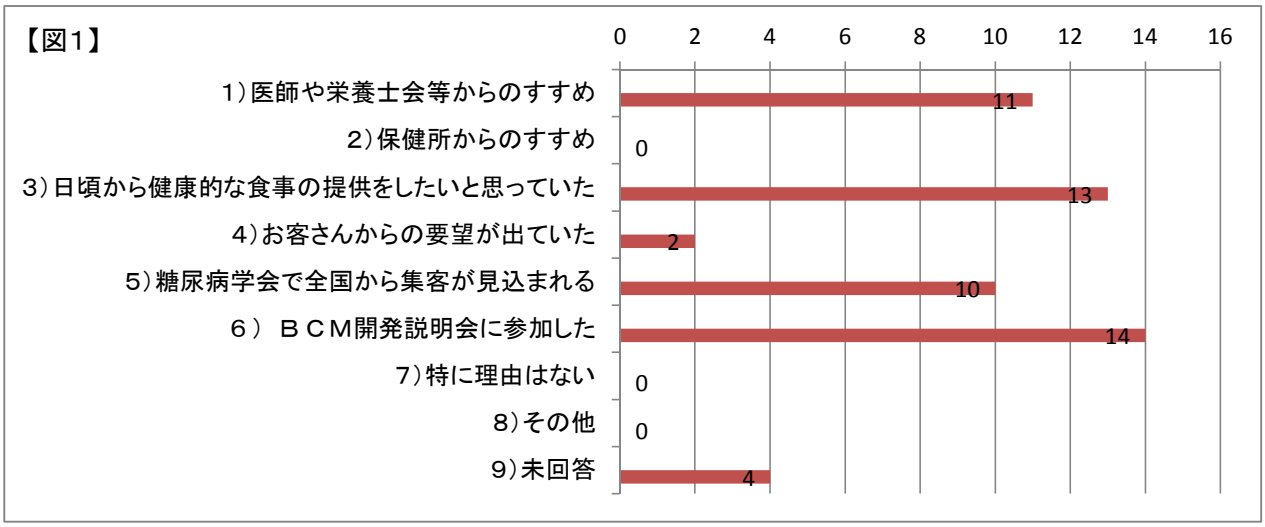
調査結果は、熊本大学代謝内科、県栄養士会、保健所等の関係者に報告し、今後の糖尿病対策（食環境整備）及び健康づくり応援店の取組拡大のための資料として活用する。

調　　査　　結　　果

調査対象 ： ブルーサークルメニューを提供する店舗　６１店舗
調査時期 ： 平成２５年８月
回答数　 ： ３３店舗（５４．１％）

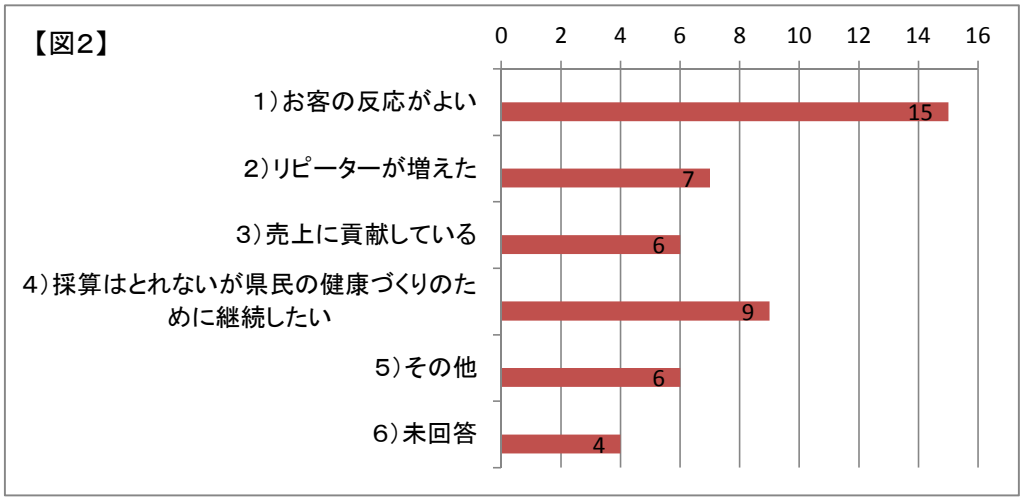
※ 設問では、「ブルーサークルメニュー」を「BCM」と表記

（１）ＢＣＭを提供することにしたきっかけ（複数回答可）



提供することにしたきっかけは、「BCM開発説明会に参加した」との回答が最も多く、次いで「日頃から健康的な食事の提供をしたいと思っていた。」、「医師や栄養士会等からのすすめ」、「糖尿病学会で全国からの集客が見込まれる」の順だった。 以前から健康づくり応援店の指定を受けていた店舗（継続店）からは、「日頃から健康的な食事の提供をしたいと思っていた。」との回答の割合が多かった（13のうち9が継続店）。

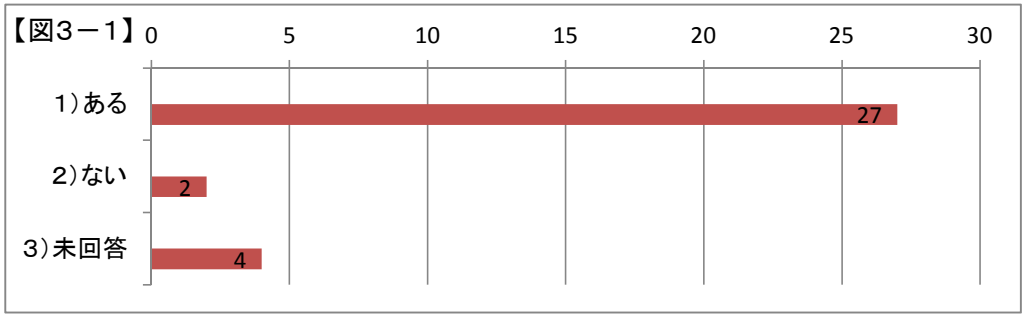
（２）ＢＣＭを提供してみての手応え（複数回答可）



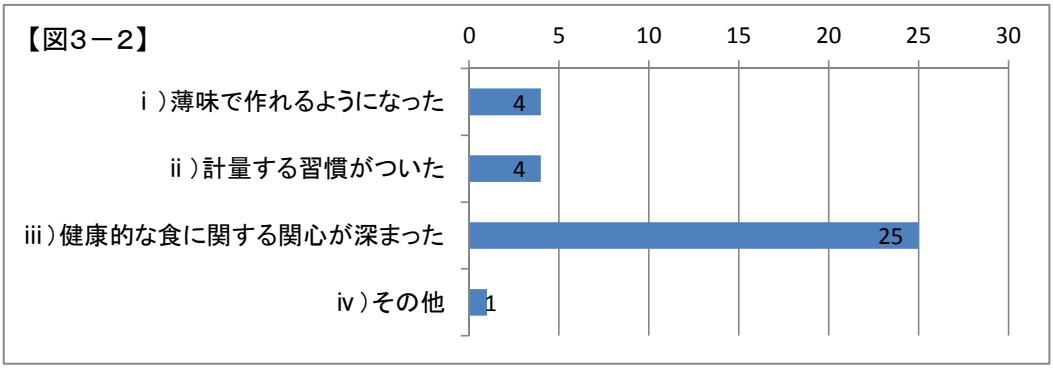
その他・・・糖尿病学会期間中は良好だった。問い合わせ自体は増えてきている。

「お客の反応がよい」との回答が約半数。「採算はとれないが県民の健康づくりのために継続したい」との回答も多かった。

（3）ＢＣＭの提供を通じた意識の変化



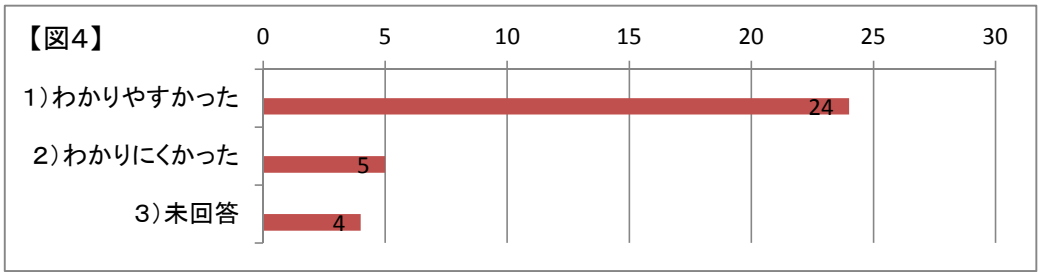
※「１）ある」と答えた方のみ。→　どんなところでしょうか？（複数回答可）



その他・・・他店のメニューにも関心をもった。

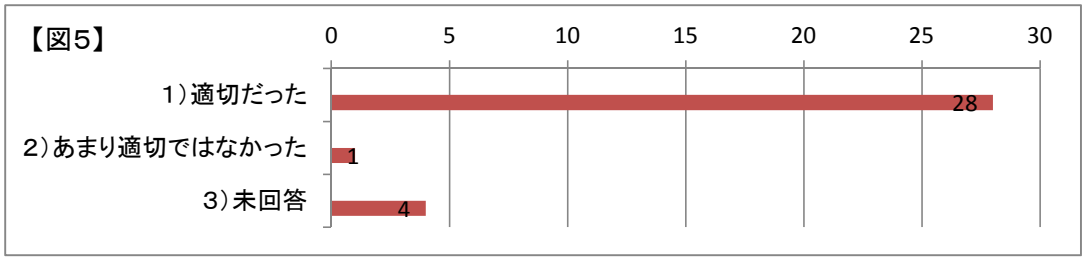
BCMの提供を通じて変わったという回答が多く、「健康的な食に関する関心が深まった」との回答が多

（4）募集から応募・指定・メニューの提供までの流れ



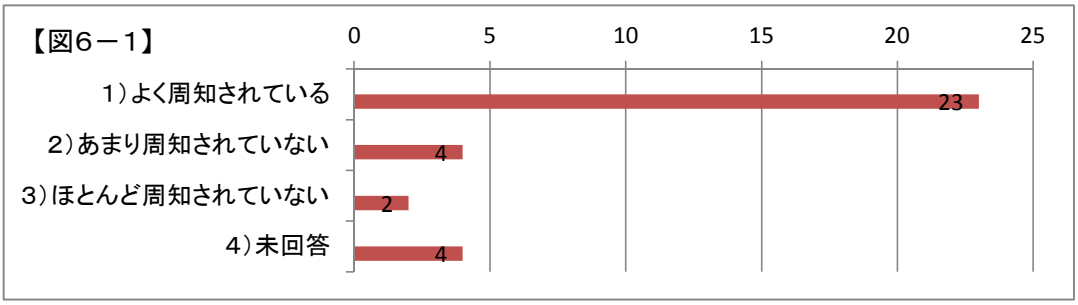
「わかりやすかった」との回答が多かった。

（5）県栄養士会からのアドバイス

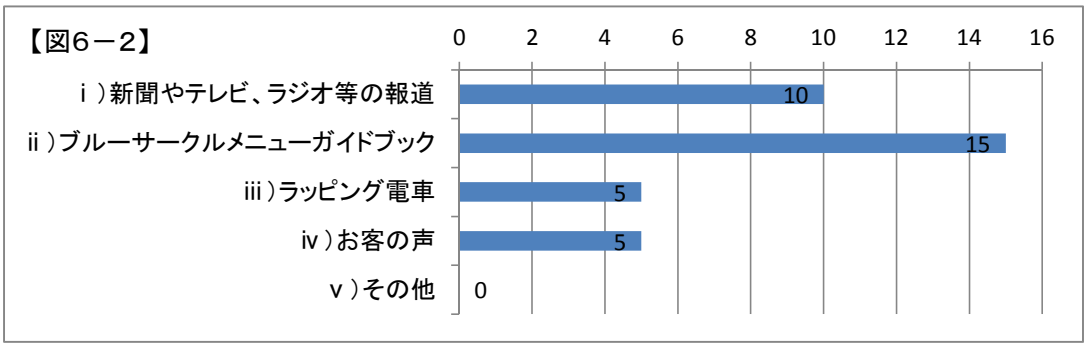


「適切だった」との回答が多かった。「適切でなかった」と回答したところは、「カロリーや塩分だけで、全体の栄養バランスについてアドバイスがなかった」と回答。

（6）ＢＣＭの周知状況

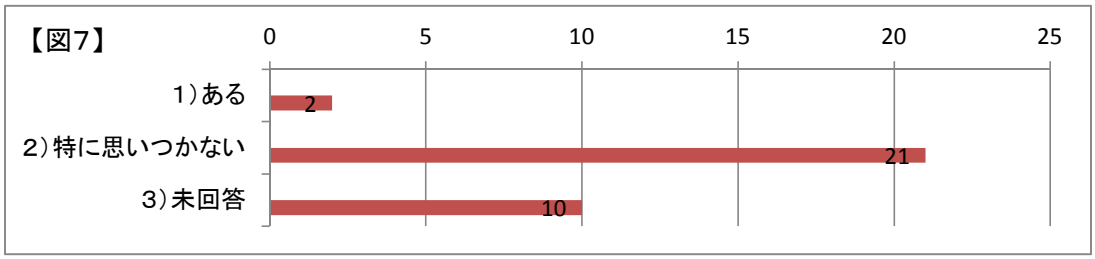


※「１）よく周知されている」と答えた方のみ。→　そう思った理由（複数回答可）



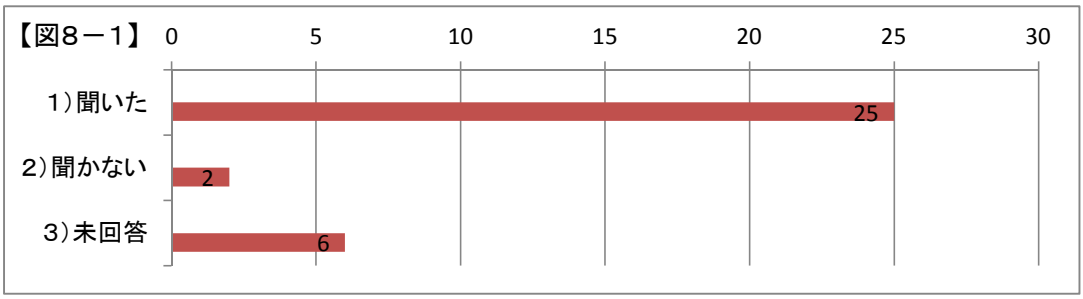
BCMの周知状況については、「よく周知されている」との回答が多く、そう感じた理由としては、「ブルーサークルメニューガイドブック」との回答が多かった。

（7）効果的な周知方法

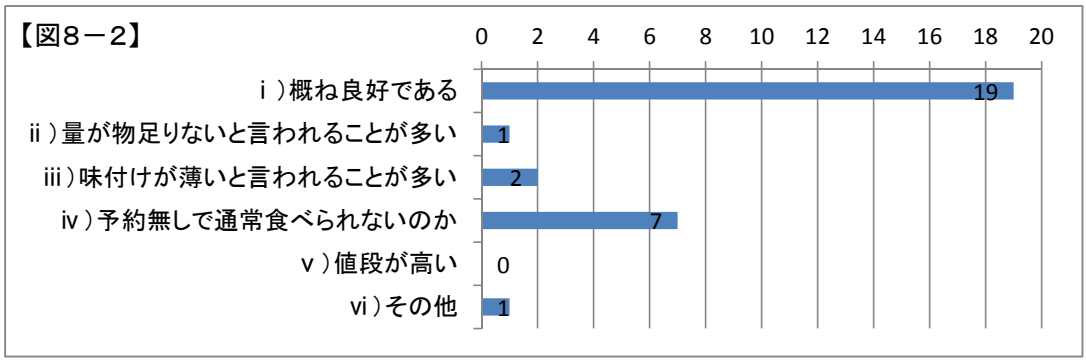


効果的な周知方法については、「特に思いつかない」との回答が多かった。「ある」と回答したところは、効果的な方法としてスタンプラリーとの回答。

（8）お客さんの声

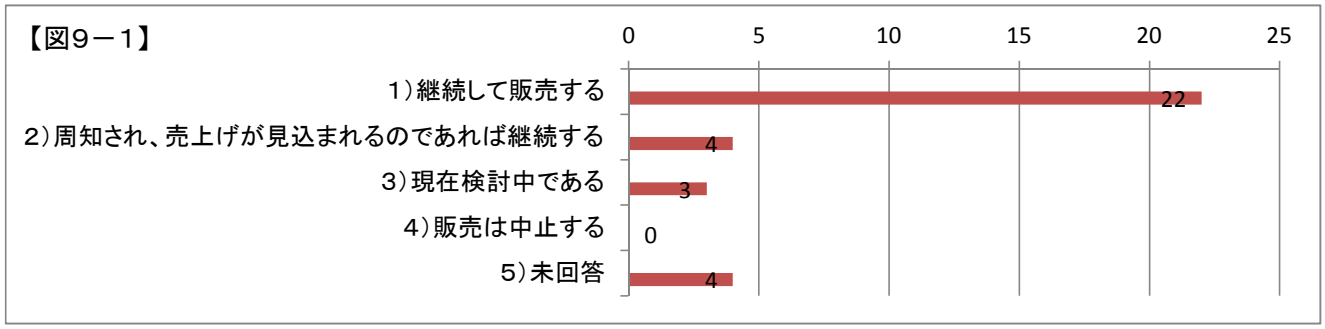


※「１）聞いた」と答えた方のみ。→　お客さんの反応はいかがでしょうか？（複数回答可）

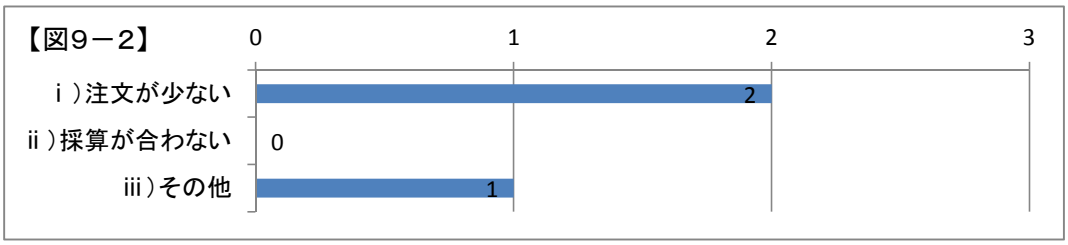


BCMを食べたお客の声を「聞いた」という店舗が多く、「概ね良好である」との回答が多かった。

（９）今後も継続して提供（販売）するか

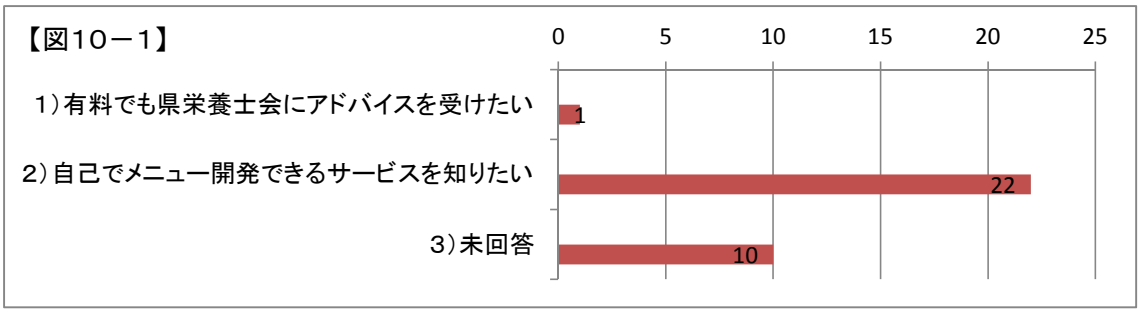


※「３）現在検討中である」と答えた方のみ。→　主な内容は？

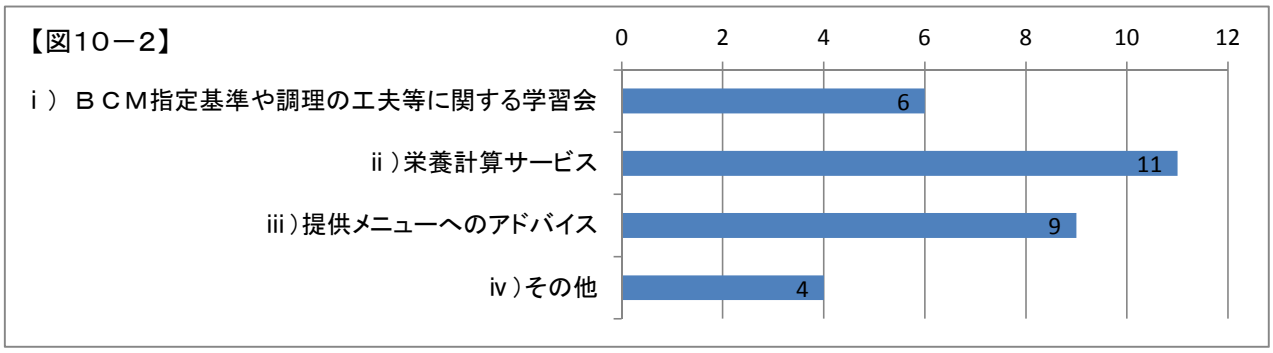


「継続して販売する」と回答した店舗が多かった。「現在検討中である」と回答したところは、「注文が少ない」ことが理由であると回答。

(10) 新たにＢＣＭを開発する場合



※「２）自己でメニュー開発できるサービスを」と答えた方のみ。→　必要なサービスは？



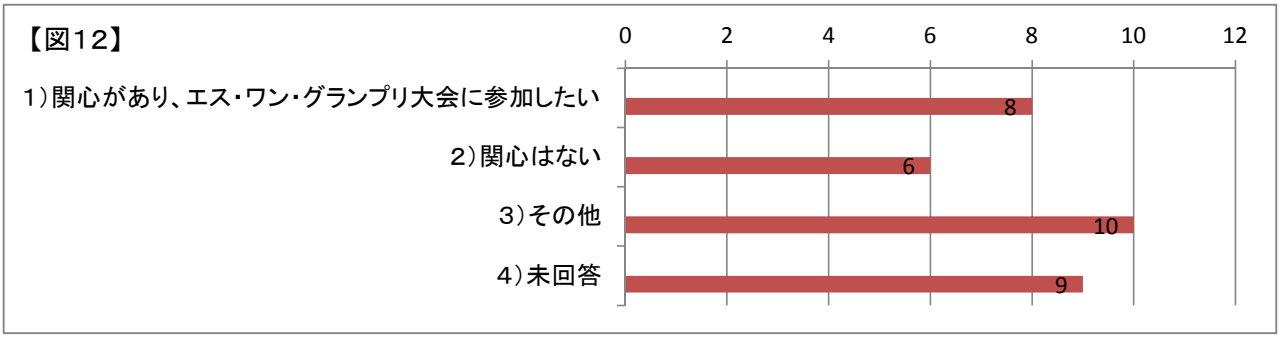
その他・・・無料による栄養計算サービス

今後メニューを開発する際には「自己でメニュー開発できるサービスをしりたい」と回答した店舗が多く、「栄養計算サービス」や「提供メニューへのアドバイス」を求める回答が多かった。

(11) ＢＣＭや健康づくり応援店について（自由記載）

・学会期間中の来店者は医療関係者ばかりで、提供の満足感は得られなかった。しかし、医療関係者の意識は多く伝わったので、そこからの発信・連携に期待している。
・自分での栄養計算はやはり難しい。メニューが夏に入って伸び悩んでいる。
・職員の関心度がアップした。
・とにかく続けてほしい。独自に広報活動を継続的に行っている。
・健康づくり応援店に加盟できて良かった。
・お客様から評価いただき挑戦して良かったと思う。ただ手間がかかり、客が多いときは対応できないため工夫する必要がある。
・病院関係者の客が多い。予約なしでも食べれるようにしていかなければ増えていかない。
・お店でBCMのシールを準備したい。品数も1品だけでなく常に数品常備していきたい。商品の付加価値として魅力的なので、今後も取り組んでほしい。
・日頃から塩分を摂りすぎていることに気づくことができた。お客様からの声そのような声が多く健康づくりに役立っていると思う。

(12) 「国循のご当地かるしおレシピ」の募集について



その他・・・関心はあるが参加しない（できない）

★ 提供開始から７月末日までの注文数ランキング ★

１位	（株）ヒライ	健康黒米ごはん弁当	１８，０００食
２位	ファミリーレストラン大門	かにぞうすい膳	９４８食
３位	鶴屋百貨店内　サロンドシャトー	花籠膳	４２６食
４位	ファミリーレストラン大門	野菜たっぷり釜めし膳	４２１食
５位	熊本ホテルキャッスル　桃花源	石鍋マーボー御飯	３６３食
６位	お弁当のふぁんたじぃ	ごぼうチャーハンセット	３５３食
７位	ホテル日航　中国料理　桃李	鶏肉のピリ辛味噌丼　塩麹風味	３２７食
８位	リストランテビスタ	若鶏のピリッとランチ	３１８食
９位	花さと	ちらし茶そば	３００食
９位	熊大病院　東病棟売店・外来売店	弁当６００	３００食

調	査	票

“ブルーサークルメニュー”提供アンケート

「第 56 回日本糖尿病学会年次学術集会」（平成 25 年５月）開催を契機に、熊本県における糖尿病の啓発活動の１つとして、健康的な外食“**ブルーサークルメニュー**”（以降、BCM と略します）の提供が昨年 11 月より始まりました。

そこで、今回、今後の取組み拡大へ向けた方策を探るため、ＢＣＭを提供いただいている店舗のみなさまへ、アンケートを実施することになりました。お忙しい中ではありますが、ご協力下さるよう宜しくお願いします。

なお、ご記入いただいた後は、同封の返信用封筒で、**８月３０日（金）までに**投函下さい。

★問い合わせ先：熊本県健康づくり推進課（澤田・内田）　　電話　096(333)2252

店舗名：	担当者名：

（記入日：平成 25 年８月　　日）

BCM 名：	価格：　　円
提供開始（第１期若しくは第２期）から**７月末日まで**の注文数：	件
BCM 名：	価格：　　円
提供開始（第１期若しくは第２期）から**７月末日まで**の注文数：	件
BCM 名：	価格：　　円
提供開始（第１期若しくは第２期）から**７月末日まで**の注文数：	件

１．ＢＣＭ提供に対する考えについて

(1)あなたの店舗が、ＢＣＭを提供することにしたきっかけは何ですか？該当するもの全てに○を記入してください。

1)医師や栄養士会等からのすすめ
2)保健所からのすすめ
3)日頃から健康的な食事の提供をしたいと思っていた
4)お客さんからの要望が出ていた
5)糖尿病学会で全国から集客が見込まれる
6)ＢＣＭ開発説明会に参加した
7)特に理由はない
8)その他（　　）

(2)ＢＣＭを提供してみての手応えは如何ですか？該当するもの全てに○を記入してください。

1)お客の反応がよい

2)リピーターが増えた

3)売上に貢献している

4)採算はとれないが県民の健康づくりのために継続したい

5)その他（　　）

(3)ＢＣＭの提供を通じて、あなた自身が変わったと思うことはありますか？

1)ある

→　どんなところでしょうか？該当するもの全てに○を記入してください。

ⅰ）薄味で作れるようになった

ⅱ）計量する習慣がついた

ⅲ）健康的な食に関する関心が深まった

ⅳ）その他（　　）

2)ない

２．ＢＣＭ提供のしくみについて

(4)ＢＣＭの募集から応募・指定・メニューの提供までの流れは、わかりやすかったですか？

1)わかりやすかった

2)わかりにくかった

→　どんなところでしょうか？（　　）

(5)ＢＣＭの応募から指定申請までの期間、県栄養士会からのアドバイスは如何でしたか？

1)適切だった

2)あまり適切でなかった

→　どんなところでしょうか？（　　）

３．ＢＣＭ提供の周知について

(6)あなたは、ＢＣＭ提供の周知状況について、どう思いますか？

1)よく周知されている

→　そう思われた周知方法について、該当するもの全てに○を記入してください。

ⅰ）新聞やテレビ、ラジオ等の報道

ⅱ）ブルーサークルメニューガイドブック

ⅲ）ラッピング電車

ⅳ）お客の声

ⅴ）その他（　　）

2)あまり周知されていない

3)ほとんど周知されていない

⑺上記の他に、あなたが考える効果的な周知方法はありますか？
1)ある
→　どんな方法ですか？（　　）
2)特に思いつかない

４．ＢＣＭの客層（リピーター含む）について

⑻ＢＣＭを食べたお客さんの声を聞きましたか？
1)聞いた
→　お客さんの反応は如何でしょうか？該当するもの全てに○を記入してください。
ⅰ)概ね良好である
ⅱ)量が物足りないと言われることが多い
ⅲ)味付けが薄いと言われることが多い
ⅳ)予約無しで通常食べられないのか
ⅴ)値段が高い
ⅵ)その他（　　）
2)聞かない

５．今後のＢＣＭの開発・提供について

⑼ＢＣＭを今後も継続して提供（販売）されますか？
1)継続して販売する
2)周知され、売上げが見込まれるのであれば継続する
3)現在検討中である
→　検討されている主な内容は何でしょうか？よろしければ、教えてください。
ⅰ)注文が少ない
ⅱ)採算が合わない
ⅲ)その他（　　）
4)販売は中止する
→　中止の理由は何でしょうか？よろしければ、教えてください。
ⅰ)注文が少ない
ⅱ)採算が合わない
ⅲ)その他（　　）

⑽新たにＢＣＭを開発する場合には、どうしますか？
1)有料でも県栄養士会にアドバイスを受けたい
2)自己でメニュー開発できるサービスを知りたい
→　あなたが必要と考えるサービスは何ですか？
ⅰ)ＢＣＭ指定基準や調理の工夫等に関する学習会
ⅱ)栄養計算サービス
ⅲ)提供メニューへのアドバイス
ⅳ)その他（　　）

(11)ＢＣＭや健康づくり応援店について、あなたが思うことを自由に記載ください。

(12)「国循のご当地かるしおレシピ」の募集が始まりましたが、関心がありますか？
（別紙チラシを参照ください。）

1)関心があり、エス・ワン・グランプリ大会に参加したい
2)関心はない
3)その他（　　）

＜御協力ありがとうございました。＞